

# CASBEE<sup>®</sup> さいたま2016年版 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版

使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

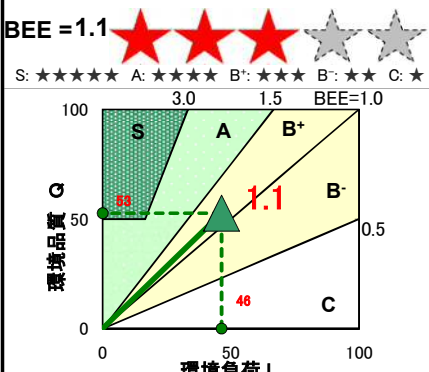
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)さいたま市大宮区北袋1丁目	階数	地上15F
建設地	さいたま市大宮区1丁目601番1	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	3,000 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2018年5月1日
敷地面積	18,800 m <sup>2</sup>	作成者	島田
建築面積	11,067 m <sup>2</sup>	確認日	2018年5月18日
延床面積	92,643 m <sup>2</sup>	確認者	小塩



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

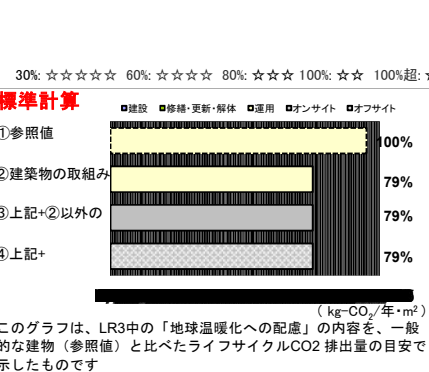
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★



### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

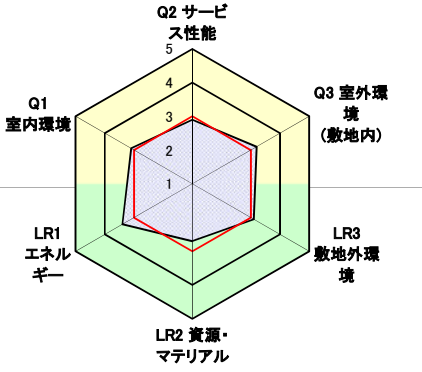
①参照値 100%  
②建築物の取組み 79%  
③上記+②以外の 79%  
④上記+ 79%



(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

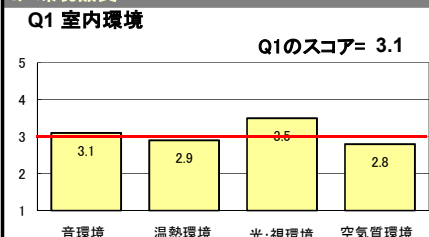


### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

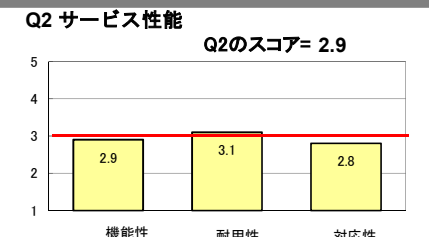
#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1



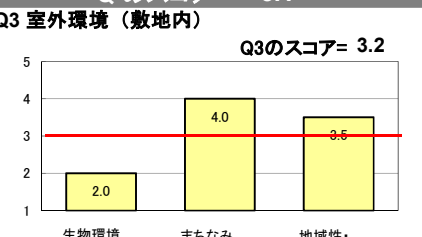
#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9



#### Q3 室外環境(敷地内)

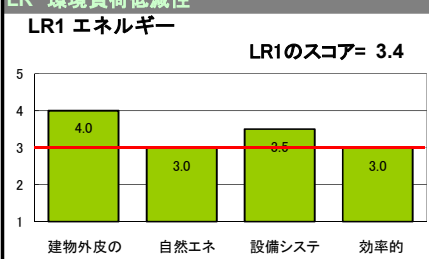
Q3のスコア= 3.2



**LR のスコア = 3.1**

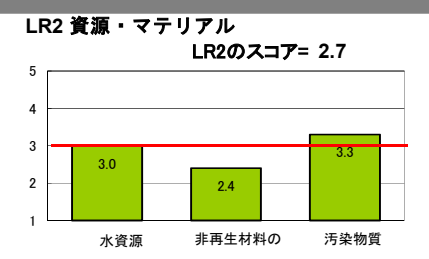
#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4



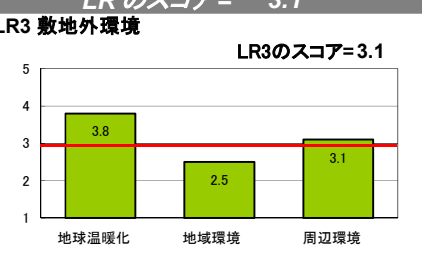
#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7



#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
・敷地外周に十分な緑量を持たせることで地域に緑と潤いをもたらせるよう計画した。		
<b>Q1 室内環境</b> ・断熱性能等級4相当。 ・住戸には庇(バルコニー)及びカーテンレールを設置。 ・F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用している。	<b>Q2 サービス性能</b> ・共同部維持管理対策等級2、劣化対策等級3取得予定。 ・各住戸に100Mbpsクラスのブロードバンドが利用可能。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・周辺環境に配慮した建物配置、外観デザインとし、景観創出に努めた。
<b>LR1 エネルギー</b> ・潜熱回収型給湯器を採用しエネルギーの有効利用を図るとともに、断熱性能等級3相当を確保することで建物の熱負担の抑制に努める。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出が参照値に対して82%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される